



レポート番号：#638

Connected &
Mobility Services

OTA及びソフトウェアアップデートによる機能提供の最新動向ガイド

自動車業界では、OTA（Over-The-Air）やFOTA（Firmware-Over-The-Air）アップデートを車両開発およびライフサイクル戦略の中心に据える新規プレーヤーが増加しています。FOTAアップデートは従来のOTAアップデートとは異なり、車両のハードウェア機能を直接追加、または強化します。現在、TeslaなどのOEMの車両では、定期的なアップデートが提供されており、生産時にインストールされたソフトウェア機能やファームウェア機能のロックを解除することが可能です。

消費者ニーズの高まりを受け、世界各国の自動車メーカーが、将来の車両ラインアップ向けに同様のOTA戦略を採用または開発しています。こうした自動車メーカーが車両のライフサイクルを通じて様々な電子制御ユニットを定期的に更新するようになるのに伴い、製品企画・エンジニアリングチームが機能やプラットフォームの競争力を評価することはより困難になります。

本書では各OEMのOTAによる提供機能や対応モデル、リリースサイクルが流動的に変化している中、常に最新状況を把握できるよう、OTAに関する各OEMの最新動向を欧州、米国、および中国編別に四半期ごとにまとめ提供します。また、現在OEMが提供しているアップデートに関して、アップデートの種類や、頻度、プロセスで使用される技術についても掘り下げて解説します。OTAを提供している車種についてはデータベースとしてエクセルに整理するとともに、キーポイントをPPTレポートにまとめます。

目次

- はじめに：本レポートの要点および各章の概要
- 基本情報：本レポートの基本概念と用語の解説
- 概要：OEMにおけるOTAおよびFaaSの概要、OTA対応車両の重点ドメインと成長の予測、FaaS実装が先行しているドメイン
- 最新情報：OTAおよびソフトウェアディファインドサービス分野における主要なニュースの概要
- 分析：付属のExcelデータベースで特定された主なトレンド
- サマリー表：各OTAアップデートドメインの概要
- Excelデータベース：OEM各社が提供しているOTAアップデートのタイプや配信に関するデータを提供

関連レポート

FaaSがもたらす新たな自動車ビジネスモデルのロードマップ

レポート番号：639

FaaS（Features-as-a-Service）は、車両販売時にオプション機能やパッケージをアップセルする従来の方法に代わるビジネスモデルです。FaaSでは、車両オーナーは車両購入後に機能を追加購入することが可能となり、OEMにとっては新たな収益源を得る機会が創出されます。

対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 ワンタイム

レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

ページ数

50+

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > どのOEMがどのようなタイプのOTAソフトウェアアップデートを配信しているのか？
- > ITや技術的観点から、アップデートはどのように実現されているのか？
- > OTAアップデートの配信頻度は？
- > 主にどのようなタイプのOTAアップデートが実施されているのか？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「OTA及びソフトウェアアップデートによる機能提供の最新動向ガイド」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

